

四街道市こどもプラン～第2期子ども・子育て支援事業計画～ の評価概要について（総括）

四街道市こどもプラン～第2期子ども・子育て支援事業計画～（計画期間：令和2年度～6年度）については、令和6年度の取り組みにより5年間の計画期間を終了しました。

計画に位置づけられている119施策について、実施状況及び目標値が設定されている施策については実績値を確認し、4段階で評価を行い、次のとおり整理しました。

1. 評価の状況

評価	施策数	割合
◎：計画より進んでいる	3 施策	2.5%
○：計画どおり	115 施策	96.7%
△：計画よりやや遅れている	1 施策	0.8%
×：計画より非常に遅れている	0 施策	0.0%
計	119 施策	100.0%

◎3施策（2.5%）が、計画より進みました。

施策名	評価の概要
時間外保育事業 【1-2-(2)-①】	<p>■保育課（◎…計画より進んでいる）</p> <p>市内保育所等全園において、7時～19時（一部は20時）までの延長保育を実施し、全年度で利用実人数は目標値を上回りました。</p> <p>実績値 R2：860人 R3：879人 R4：943人 R5：968人 R6：1,135人</p>
子育て短期支援事業 【1-2-(2)-⑦】	<p>■保育課（◎…計画より進んでいる）</p> <p>令和3年度から開始した保護者の疾病や仕事の都合などにより児童の養護が一時的に必要となった場合などに児童を預かる子育て短期支援事業について、市内外の民間事業者への委託により実施し、令和5、6年度は利用延人数が目標値を上回りました。</p> <p>実績値 R3：0人 R4：5人 R5：81人 R6：207人</p>
こどもルームの充実 【3-1-(1)-①】	<p>■保育課（◎…計画より進んでいる）</p> <p>全年度において、定員数は数値目標どおり、またはそれ以上の実績により事業を実施することができ、最終年度に実施した施設整備により、次年度に向け、数値目標を上回る定員を確保することができました。</p> <p>実績値 R2：851人 R3：881人 R4：944人 R5：1,004人 R6：1,004人 R7：1,089人</p> <p>※各年度5/1時点での定員数（例：R7-R6=R6年度中の整備数）</p>

△1施策（0.8%）が、やや遅れました。

施策名	評価の概要
国際交流事業 【3-1-(3)-⑤】	<p>■政策推進課（△…やや遅れている）</p> <p>中学生を対象とした姉妹都市・リバモア市との交換留学について、令和2～5年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受け入れ、派遣ともに事業を中止していました。（6年度に事業を再開しました。）</p>

2. 基本方針における評価

○基本方針1 多様な子育て支援の充実

基本方針1の「多様な子育て支援の充実」は、「就学前の教育・保育の充実」及び「地域における子育て支援の充実」の2つの基本施策で構成されています。

「就学前の教育・保育の充実」については、8施策の全施策で「計画どおり」となり、特に待機児童解消においては、私立幼稚園3園の認定こども園化や保育所等13か所の整備及び既存保育所等の定員増加により、757人の保育定員を確保することができました。

「地域における子育て支援の充実」については、21施策の全施策で「計画より進んでいる」、「計画どおり」となりました。中でも、時間外保育事業と子育て短期支援事業は、数値目標を上回る利用があり保育サービスや子育て支援体制の充実を図ることができました。

また、保育所、社会福祉協議会、公民館、高齢者福祉施設、PTA等さまざまな主体が、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一時は事業の中止や縮小を余儀なくされる厳しい状況もありましたが、状況に応じて事業内容や方法を見直し、徐々に事業を再開することができました。

以上の結果から、基本方針1においては、29施策の全施策で「計画どおり」以上であったことから、基本方針1の全体評価は「計画どおり」とするものとします。

○基本方針2 子どもや母親の心とからだの健康づくり

基本方針2の「子どもや母親の心とからだの健康づくり」は、「母子保健の充実」及び「小児保健医療体制の充実」の2つの基本施策で構成されています。

「母子保健の充実」については、18施策の全施策で「計画どおり」となり、令和5年2月に開始した妊婦に対して伴走型相談支援と経済的支援を一体的に行う「妊婦子育て応援金事業」では、妊娠後期のアンケートが実施され希望者には出産に向けて具体的な準備を進める時期に助産師・保健師との面談を受けることが可能となり、妊婦の抱える問題の複雑化多様化に対応する体制を整えることができました。また、令和6年6月から、ハイリスク妊婦の抱える問題がより複雑化多様化していく中で、妊婦支援会議に母子保健部門だけでなく、福祉部門の職員も参加するなど、連携による支援の充実化を図りました。

「小児保健医療体制の充実」については、6施策の全施策で「計画どおり」となり印旛市郡医師会・薬剤師会などの協力体制のもと、安定した運営が行われました。また、夜間や日・休日等の小児の緊急性のある診療ニーズに際しても、継続的に診療サービスが提供されました。

以上の結果から、基本方針2においては、24施策の全施策で「計画どおり」であったことから、基本方針2の全体評価は「計画どおり」とするものとします。

○基本方針3 豊かな心を育む育成環境の整備

基本方針3の「豊かな心を育む育成環境の整備」は、「健全な心身の成長に向けた支援」及び「次代の親の育成に向けた支援」の2つの基本施策で構成されています。

「健全な心身の成長に向けた支援」については、17施策中16施策で「計画どおり」以上の成果を上げることができました。特に、こどもルームの充実においては、全年度で数値目標どおり、またはそれ以上の定員を確保することができました。また、子どもの居場所・遊び場の充実を目的とした児童センターやプレーパーク、多様な活動ができる環境の充実を目的とした公民館や図書館等における施策については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたため、一部事業の中止や縮小を余儀なくされたものの、感染対策を講じた上で事業を再開し、実施することができました。

一方、国際交流事業については計画期間中の最終年度のみの実施となったことから、進捗状況として「計画よりやや遅れている（遅れた）」と評価しています。

「次代の親の育成に向けた支援」については、7施策の全施策で「計画どおり」となり、健康教育・思春期保健の充実において、幼児から中学生までという幅広い年代に対して、それぞれの成長段階や理解度に応じた適切な方法で食育を行うことができました。

以上の結果から、基本方針3の評価においては、24施策中の23施策で「計画どおり」以上であったことから、基本方針3の全体評価は「計画どおり」とするものとします。

○基本方針4 多様な子育て家庭への支援

基本方針4の「多様な子育て家庭への支援」は、「仕事と家庭の両立支援」及び「配慮が必要な子ども・子育て家庭への切れ目ない支援」の2つの基本施策で構成されています。

「仕事と家庭の両立支援」については、4施策の全施策で「計画どおり」となり、多様な働き方ができる就労環境の整備では、商工会との連携によるリーフレットやパンフレットの配布・掲示、ホームページを活用した育児・介護休業制度の周知を行い、情報提供に努めました。また、男性が子育てに参加するきっかけづくりとして、コロナ禍の状況に対応した料理教室の開催を通じて男性の家庭参画促進を図りました。さらに、就職支援セミナーや商工会との連携による創業講座を開催し、幅広い層への支援を行いました。

「配慮が必要な子ども・子育て家庭への切れ目ない支援」については、25施策の全施策で「計画どおり」となり、ひとり親家庭に対して、入学等祝金の支給やひとり親家庭等に対する医療費等の助成、民間学習塾によるひとり親家庭等の中学生を対象にした学習支援を行いました。

障がいのある子どもや発達に支援を必要とする子どもへの支援では、相談支援事業所等との情報共有等を図りながら、適切なサービスの提供を行うことで、障がいのある子とその家族への支援に取り組みました。また、にじいろサポートファイルの活用推進により、切れ目のない支援につながっています。

また、児童虐待防止対策では、子ども家庭総合支援拠点を令和3年度に設置し、相談支援体制を充実させることで、よりきめ細やかな支援に取り組むことができました。

以上の結果から、基本方針4の評価においては、全29施策で「計画どおり」であったことから、基本方針4の全体評価は「計画どおり」とするものとします。

○基本方針5 子ども・子育てにやさしいまちづくり

基本方針5の「子ども・子育てにやさしいまちづくり」は、「子ども・子育てに配慮した生活環境の充実」の基本施策で構成されており、13施策の全施策で「計画どおり」となりました。

具体的には、千代田団地内において、誰もが安心して道路を利用できるよう、計画的に27か所のバリアフリー工事を実施しました。また、公共施設の整備においては、令和4年度に着工した新庁舎整備において、授乳室やキッズスペースを設けるなど、小さな子どもを抱える保護者への配慮を充実させました。一方、「赤ちゃんの駅」については、5年間で14か所の登録を行いました。今後も新規登録施設の追加などを進め、乳幼児を育てる保護者が、より安心して外出できる環境の充実を目指す必要があります。

身近な安全の強化として、交通安全教室・交通安全運動の推進については、警察署、地域などと協力・連携の上、交通安全教室を開催し、令和6年度には幼児から高齢者までを対象に6,000人近くの方が参加し、交通安全意識の向上が図られました。

以上の結果から、基本方針5の評価においては、全13施策が「計画どおり」であったことから、基本方針5の全体評価は「計画どおり」とするものとします。

3. 計画期間の評価の総括

これまでの評価のとおり、基本方針ごとの評価においては、全ての項目で「計画どおり」となり、また全施策から見た評価であっても、全119施策中の99.2%にあたる118施策が「計画どおり」又は「計画より進んでいる」評価であることから、第2期計画の総合評価として「計画どおり」とするものとします。

なお、子ども・子育て支援計画の第2期計画期間中は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたものの、各主体が多様な課題に柔軟に対応する形で、子育て環境の改善と地域との連携を図ることができました。

令和7年度を計画開始年度とする今後5か年の計画である「四街道市こども計画」においても、新たな基本理念を実現するために設定された基本方針を柱として総合的に子ども・若者・子育て支援に関する各施策を推進していくものとします。